令和７年度

清瀬市平和祈念展等実行委員会

事　業　報　告　書

清瀬市平和祈念展等実行委員会

1　事業の概要

昭和 57（1982）年９月の清瀬市議会で「非核清瀬市宣言」が議決され、今年で４３年目となりました。清瀬市では、昭和 61（1986）年度から実施してきた平和祈念展を平成 18（2006）年度より企画の段階から市民の参加を得ることにより、市民と市の協働による新たな平和祈念展とするため、市民公募委員で組織する清瀬市平和祈念展等実行委員会が設置され、企画が進められました。

令和７（2025）年度の実行委員会では、これまでに開催した『平和祈念フェスタ in 清瀬』の企画等を参考に、実行委員会を開催し、平和祈念フェスタを開催できました。８月では、広島・長崎の原爆をテーマに展示会を市役所２階とクレアビル４階（クレアギャラリー）の２か所で開催し、アミューホールではピース・エンジェルズによる広島派遣平和学習報告、第五福竜丸展示館の市田真理氏の講演を開催しました。

３月には、市役所２階とクレアビル４階（クレアギャラリー）の２か所で東京大空襲関連の写真パネルを展示し、アミューホールではアコーディオン演奏や朗読サークル「フレディ」による朗読、元イスラエル空軍兵士 ダニー・ネフセタイ氏による講演を開催しました。また、会場にはピース・エンジェルズが作成したピース・メッセージを展示しました。

また、今年は戦後８０年ということで、「戦争と平和を考えてみよう　映画会」を開催。約５０人の来場者であった。

今年度も引き続き不安定な社会情勢でしたが、清瀬市平和祈念展等実行委員会では講演会や展示会などの事業を通じ来場者のみなさんへ戦争の悲惨さ、平和の大切さ、人命の尊さを伝え、世界の恒久平和を次世代へ引き継ぐための活動を行いました。

『平和祈念フェスタ in 清瀬』の開催は、実行委員だけでなく、平和祈念フェスタでご出演いただいたみなさん、展示会に資料をお貸しいただいたみなさん、各会場に参加いただいた来場者のみなさんの平和希求への想いに支えられたものであることを報告します。

参考　非核清瀬市宣言

非核清瀬市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

我々は、世界で唯一の被爆国民として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを、声を大にして全世界の人々に訴え、再び「広島」・「長崎」のあの惨禍を繰り返させてはならない。

我々は、非核三原則（造らず、持たず、持ち込ませず）が完全に守られることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、いかなる国の、いかなる核兵器も、わが清瀬市内に配備・貯蔵することはもとより、配備訓練、空中輸送、核部隊の通過も許さない。

我々は、核攻撃の目標となるおそれのある施設の撤去に努め、いかなる理由があろうとも、新たに設けることを認めず、疑わしき施設の実態把握と公表に努めることを宣言する。

昭和 57 年 9 月 29 日

清瀬市議会

THE NON−NUCLEAR DECLRATION OF KIYOSE CITY

Eternal world peace is a desire common to all mankind.

As the only nation who has been atom -bombed ,we must testify to the terror of the atomic bomb attack and the suffering of atomic bomb victims to the people all over the world in a loud voice, and we must not allow the terrible disasters in ‘Hiroshima’ and ‘Nagasaki’ to be repeated.

We wish for the complete observance of the thee non-nuclear principles (not to manufacture, possess, or introduce nuclear weapons), demand the abolition of nuclear weapons and the disarmament of all nuclear powers, and we will never allow the deployment, training or air transport of any nuclear weapons of any country, or passage of any nuclear unit, let alone their deployment and storage in Kiyose City.

We declare that we will endeavor to remove the facilities likely to be target of nuclear attack .And we will not allow such facilities to be built for any reason. Furthermore, we will investigate and make public the actual condition of the suspicious facilities.

September 29, 1982

Kiyose City Council

２　清瀬市平和祈念展等実行委員会の開催

第１回実行委員会　　令和７年４月１７日
第２回実行委員会　　令和７年５月１５日
第３回実行委員会　　令和７年６月２６日
第４回実行委員会　　令和７年７月２４日
第５回実行委員会　　令和７年９月１８日
第６回実行委員会　　令和７年１０月１６日
第７回実行委員会　　令和７年１１月２０日
第８回実行委員会　　令和７年１２月１８日
第９回実行委員会　　令和８年１月２２日
第 10 回実行委員会　令和８年２月１９日

３　令和７年度の活動

（１）平和祈念フェスタ in 清瀬（８月）

ア　展示会について

（ア）場　所　　①クレアギャラリー
　　②市役所市民交流スペース

（イ）日　程　　①令和７年８月１３日（水）から２４日（日）まで
　　②令和７年８月７日（木）から２４日（日）まで

（ウ）内　容　　①「核兵器と戦争に関する 16 の問い展」
　　②パネル「ヒロシマ・ナガサキ　原爆と人間」
　　③市議会「ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議し、恒久平和を求める決議」
　　④市議会「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」
　　⑤パネル「米軍大和田通信所」

イ　講演会について

（ア）場　所　　アミューホール　　参加者１００人

（イ）日　時　　令和７年８月２３日（土）午後１時開場　午後１時 30 分開会

（ウ）内　容　　①ピース・エンジェルズによる広島派遣平和学習報告
　　②講演
　　講師：市田真理（都立第五福竜丸展示館　学芸員）
　　演題：「核なき未来にむかって～第五福竜丸を知っていますか？」

③会場展示　「ピース・メッセージ」
④おりづるコースター募金

（２）平和祈念フェスタ in 清瀬（３月）
ア　展示会について
（ア）場　所　①クレアギャラリー
②市役所市民交流スペース
（イ）日　程　①令和８年３月１０日（火）から３月２３日（月）まで
②令和８年３月１７日（火）から３月２３日（月）まで
（ウ）内　容　①パネル「核兵器禁止条約が×にしたこと」など
②パネル「東京大空襲」
③パネル「米軍大和田通信所」
④市議会「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」
⑤市議会「非核三原則」の堅持を強く求める意見書
⑥パネル「ヒロシマ・ナガサキ　原爆と人間」

イ　講演会について
（ア）場　所　アミューホール　　参加者１１０人
（イ）日　時　令和８年３月２１日（土）午後１時開場　午後１時 30 分開会
（ウ）内　容　①アコーディオン伴奏による「みんなでうたおう」
②朗読　朗読サークル　フレディ
③講演
講師：ダニー・ネフセタイ（元イスラエル空軍兵士）
演題：「元イスラエル空軍兵士が考える平和と戦争について」
④会場展示　「ピース・メッセージ」

（３）映画会（１２月）
（ア）場　所　生涯学習センター　講座室１
（イ）日　時　令和７年１２月１３日（土）午後１時３０分開場　午後２時開会
（ウ）内　容　「戦争と平和を考えてみよう　はだしのゲン（３部作中第１部）」

５　決算
予算額　250,000 円
執行額　241,773 円
残額　8,227 円